

2015年度  
北日本血液研究会活動報告



1. 活動実績
  - 1) 臨床研究
  - 2) 治験
  - 3) 臨床研究ミーティング
  - 4) 学術講演等
  
2. 会務
  - 1) 総会、幹事会
  - 2) 会計報告
  
3. 会則
  
4. 幹事、参加施設

# 1. 活動実績

## 1) 臨床研究

試験名：「抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリンを用いた HLA 適合ドナーからの同種末梢血幹細胞移植の多施設共同第 II 相試験 (JSCT-ATG15)」

目標症例数：70 例

登録症例数：5 例

登録期間：3 年間 (2015 年 11 月 1 日～2018 年 10 月 31 日)

試験名：「抗癌剤投与後の悪性リンパ腫における pegfilgrastim 投与後の末梢血中への CD34 陽性細胞数の推移についての検討 (Pegfilgrastim-16)」

目標症例数：20 例

登録症例数：1 例

登録期間：1 年間 (2016 年 2 月～2017 年 3 月 31 日)

試験名：「骨髄破壊的前処置による移植後シクロホファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の安全性と有効性の検討 (JSCT-Haplo14 MAC)」

目標症例数：38 例

登録症例数：53 例

登録期間：2 年間 (2014 年 8 月～2016 年 7 月 31 日) ～2015 年 9 月 30 日で登録終了

試験名：「強度減弱前処置による移植後シクロホファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の安全性と有効性の検討 (JSCT-Haplo14 RIC)」

目標症例数：62 例

登録症例数：81 例

登録期間：2 年間 (2014 年 8 月～2016 年 7 月 31 日) ～2016 年 2 月 29 日で登録終了

試験名：「造血幹細胞移植後アデノウイルス感染症に対するシドフォビル投与の臨床試験」

目標症例数：10 例

登録症例数：6 例

登録期間：3 年間 (平成 25 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日) (延長申請予定)

試験名：「菌状息肉症 / Sezary 症候群に対する同種移植後における早期再発予防としての Vorinostat 療法」

目標症例数：6 例

登録症例数：4 例

登録期間：3 年間 (2013 年 6 月 1 日～2016 年 5 月 31 日)

試験名：「フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病 (Ph+ALL) における、自家末梢血幹細胞移植とチロシンキナーゼ阻害剤 (TKI) での維持療法の安全性について検討する多施

## 設臨床試験」

目標症例数：5例

登録症例数：1例

登録期間：3年間（2013年6月17日～2016年3月31日）

試験名：「抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリンを用いた同種末梢血幹細胞移植療法の多施設共同パイロット試験」

目標症例数：6例

登録症例数：5例

登録期間：2年間（2013年11月1日～2015年11月30日）

## 2) 治験

・「深在性真菌症の日本人患者を対象としたMK-5592とポリコナゾールの安全性及び有効性を検討する無作為化、実薬対照、第Ⅲ相非盲検試験」：2015年12月再開、登録予定症例：1例、登録症例：0例

・「再発又は難治性古典的ホジキンリンパ腫の患者様を対象とした、抗がん剤MK-3475（抗PD-1抗体）」：2015年8月開始、登録期限2016年4月（Cofort 1,2）、8月(Cofort 3)、登録予定症例：1例、登録症例：2例

・サイトメガロウイルス（CMV）抗体陽性の同種造血細胞移植（HCT）を受けられる方を対象とする治療ワクチンASP0113のCMV感染抑制効果と安全性を評価する  
ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅲ相試験 2014年7月開始、登録予定数4、登録症例2例

・原発性骨髄線維症（PMF）患者又は真性多血症後若しくは本態性血小板血症後の骨髄線維症（Post-PV/ET MF）患者を対象に momelotinib とルキソリチニブを比較する、第3相、ランダム化、二重盲検、実薬対照試験、第Ⅲ相試験 2015年6月開始、登録予定数2、登録症例1例

FLT3 遺伝子変異を有する再発又は治療抵抗性の急性骨髄性白血病（AML）患者を対象としたASP2215とサルベージ化学療法との多施設共同盲検ランダム化比較第Ⅲ相試験 2016年5月開始予定、登録予定数2、登録症例0例

## 新規治験

CCTL019B2206/C2201（再発DLBCLに対するCAR-T cell療法）

2016年1月開始、登録予定数3例、登録症例3例 ～2016年4月15日で一時登録中断（再開の目処は立っていない）

未治療の初発多発性骨髄腫患者を対象としたレナリドミドおよび低用量デキサメタゾン併用 MK-3475（抗 PD-1 抗体）第 III 相試験

2016 年 4 月開始、登録予定数 2 例、登録症例 0 例

再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫患者を対象とした MK-3475 とブレンツキシマブ ベドチンを比較する非盲検、無作為化、第 III 相試験

2016 年 5 月開始予定、登録予定数 1 例

登録終了したもの

ブルトン型チロシンキナーゼ阻害薬 PCI-32765 の既治療の低悪性度非ホジキンリンパ腫患者を対象とした BR 併用または R-CHOP 併用、ランダム化、二重盲検プラセボ対照第 III 相試験  
登録予定症例：4例、登録症例：2例

ブルトン型チロシンキナーゼ阻害薬 PCI-32765 の初発の非胚中心細胞様びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の患者を対象とした R-CHOP 併用、ランダム化、二重盲検プラセボ対照第 III 相試験

登録予定症例：5例、登録症例：5例

ブルトン型チロシンキナーゼ阻害薬 PCI-32765 の初発の慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫の患者を対象とした第 I 相試験

登録予定症例：1例、登録症例：1例

CD20 陽性非ホジキンリンパ腫を対象としたオビヌツズマブ（RO5072759）の投与時間短縮を検討する第 III 相臨床試験、

登録予定症例：4例、登録症例：3例

慢性 GVHD 患者を対象とした TC-V の臨床試験

登録予定症例：4 例、登録症例：7 例

再発又は難治性古典的ホジキンリンパ腫の患者様を対象とした、抗がん剤MK-3475（抗PD-1抗体）第II相試験」：2015年8月開始、2016年2月登録終了、登録予定症例：1例、登録症例：2例

### 3) 臨床研究ミーティング

第 1 回 2015 年 3 月 16 日（月）

場所：北海道大学病院 会議室棟 2 階第 2 ゼミナール室

第 2 回 2015 年 6 月 3 日（水）

場所：北海道大学病院 会議室棟 1 階 症例検討室 2

第3回 2015年9月2日(水)

場所：北海道大学病院 会議室棟1階 症例検討室2

第4回 2016年1月27日(水)

場所：北海道大学病院 会議室棟2階第1ゼミナール室

#### 4) 学術講演会

第3回 血液がん研究会

2015年4月17日(金) 19:00~21:00 京王プラザホテル札幌

特別講演：「EBV関連リンパ増殖性疾患の病理」

演者：久留米大学医学部病理学講座 教授 大島孝一 先生

特別講演：「EBウイルス関連皮膚T/NKリンパ球増殖症の病態と予後」

演者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 皮膚科学 教授 岩月啓氏 先生

第2回 北海道血液アカデミー

2015年7月24日(金) 19:00~21:00 京王プラザホテル札幌

Future sessions

勤医協中央病院 佐賀智之 先生

札幌医科大学病院 守田玲菜 先生

愛育病院 盛 暁生 先生

北海道大学病院 瓜生英尚 先生

Special lecture

「分子標的治療における免疫応答制御の重要性」

演者：国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫TR分野

分野長 西川 博嘉 先生

第2回 Austria – Japan Haematology Consortium

2015年9月11,12日 QIMR Berghofer Medical Research Institute, Brisbane, Australia

Speaker

Dr. Toshihiro Miyamoto, Kyushu University

Dr. Takahiro Fukuda, National Cancer Center

Dr. Kelli MacDonald, QIMR Berghofer Medical Research Institute

Dr. Daigo Hashimoto, Hokkaido University

Dr. Xiaojun Huang, Peking University

Dr. Takanori Teshima, Hokkaido University

Dr. David Gottlieb, University of Sydney

Dr. David Ritchie, University of Melbourne

Dr. Ken-ichi Matsuoka, Okayama University  
Dr. Barbara Fazekas de St Groth, University of Sydney  
Dr. Stephan Alexander, University of Sydney  
Dr. Simon Barry, University of Adelaide

#### 北海道血液市民セミナー

2015年10月10日(土) 13:00~16:00 TKP 札幌カンファレンスセンター

セッションI; 全体会; 血液がんとは?

司会; 北海道大学 豊嶋 崇徳 先生

演者; 北海道がんセンター 黒澤 光俊 先生

セッションII; 疾患別 Q&A 分科会~各分科会同時進行

多発性骨髄腫; 札幌北楡病院 小原 雅人 先生

悪性リンパ腫; 市立旭川病院 柿木 康孝 先生

白血 病; 北海道大学 近藤 健 先生

#### 北日本血液研究会学術講演会

2014年11月6日(金) 19:00~20:15 京王プラザホテル札幌

一般講演; 「急性骨髄性白血病~論文からのエビデンスと北海道での実臨床」

演 者; 北海道大学大学院医学研究科 血液内科学分野 近藤 健 先生

特別講演; 「キメラ抗原受容体 (CAR) 発現 T リンパ球を用いた B 細胞性腫瘍に対する養子免疫遺伝子療法」

演 者; 東京大学医科学研究所 附属病院長/先端医療研究センター  
教授 小澤 敬也 先生

## 2. 会務

### 1) 総会、幹事会

#### 幹事会

2015年4月17日(金) 京王プラザホテル札幌

#### 総会

2014年11月6日(金) 京王プラザホテル札幌

### 2) 会計報告

- ① 北日本血液研究会 平成27年度会計報告
- ② 北日本血液研究会 平成28年度予算案  
別紙参照

### 3. 会則

北日本血液研究会（NJHSG）会則

平成 24 年 10 月 27 日

（第 1 版）

平成 27 年 11 月 6 日

（第 2 版）

#### 第 1 条（名称）

本会は、North Japan Hematology Study Group (NJHSG)、  
「北日本血液研究会」と称する。

#### 第 2 条（目的）

本会は血液病の治療の進歩・発展を促すことを目的とする。  
患者さんや医療人に対して最新の情報を共有する機会を創出することや臨床研究や基礎研究を通じて血液病患者のためのエビデンスを創出し、地域医療から世界的な医療の発展に貢献する。

#### 第 3 条（事業）

本会の目的達成の為、次の事業を行う。

第 1 項 年次総会・定例会・研究集会

第 2 項 その他の事業（研究事業・国内外関係学会との交流等）

#### 第 4 条（役員）

本会の役員は下記の通りとする。役員の任期は 2 年とする。  
ただし、再任を妨げない。

第 1 項 代表（1 名）

代表は、幹事会の互選によって選出され会務を統括する。

第 2 項 顧問（若干名）

代表の推薦により、幹事会の承認を得て決定する。

第 3 項 幹事（若干名）

幹事会を構成し会務を分担する。

第 4 項 会計（1 名）

幹事より互選により選出し、会運営の収支決算書を作成する。

第 5 項 監事（1 名）



幹事より互選により選出し、会計を監査する。

#### 第5条（事務局）

本会の事務局を下記におき、本会運営の為の事務処理等を行う。

北海道大学病院 血液内科 医局

〒060-8638 札幌市北区北 15 条西 7 丁目

TEL 011-706-7214 FAX011-706-7823

事務局担当は医局長が実務を行う。

#### 第6条（会計）

本会の事業遂行に要する費用は会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに当てる。本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日とする。

#### 第7条（収支決算）

本会の会計は事務局において集計し監事の監査を経て、幹事会で承認されなければならない。

#### 第8条（会員）

会員は、北海道大学病院血液内科関連病院に勤務している者並びにこれに準ずる者かつ第2条の趣旨に賛同する者とする。

#### 第9条（資格の喪失）

会員は、次の事由によってその資格を喪失する。

第1項 退会したとき。

第2項 退会は、事務局への書面による申出により行う。

#### 第10条（会議）

会議として、総会、幹事会や研究集会を下記の通りとする。

第1項 年次総会、研究集会は、幹事会の決定によって運営される。

第2項 幹事会は、代表幹事が招集して議長を務め年1回以上開催する。

第3項 幹事会は、役員総数の3分の1以上の出席にて成立する。

第4項 代表ならびに幹事は、年次総会・研究集会の開催地を決定し、研究集会の地区世話人に研究集会の準備（演題の募集等）を依頼する。

#### 第11条（会費）

総会の当日に年会費として参加1施設あたり10,000円を納める。

第 12 条（会則変更）

本会則の変更は、幹事会において出席者の過半数以上の賛成を必要とする。

第 13 条（附則）

附則は、下記の通りとする。

第 1 項 本会則は平成 24 年 10 月 27 日より施行する。

第 2 項 本会の事業は本会の目的に賛同する企業、その他の団体と共催することができる。

第 14 条（施行）

この会則は平成 24 年 10 月 27 日から施行する。

附記

会則改正

2015 年 11 月 6 日

第 5 条改正 「事務局担当 杉田純一」から、「事務局担当は医局長が実務を行う」に改正。

## 4. 役員

名誉会長	今村 雅寛	札幌北榆病院	血液内科	顧問
代表・事務局	豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科	教授
顧問	笠井 正晴			
顧問	森岡 正信	愛育病院	血液内科	名誉院長
顧問	藤本 望	開成病院	内科	副院長
幹事	岩崎 博	札幌厚生病院	血液内科	主任部長
幹事	福原 敬	札幌厚生病院	緩和ケア内科	センター長
幹事	黒澤 光俊	北海道がんセンター	血液内科	医長
幹事	小林 一	帯広厚生病院	第四内科	主任部長
幹事	小林 直樹	札幌北榆病院	血液内科	統括診療部長
幹事	柿木 康孝	市立旭川病院	血液内科	診療部長
幹事	盛 暁生	愛育病院	血液内科	副院長
幹事	宮城島 拓人	釧路労災病院	内科	副院長
幹事	西尾 充史	NTT 東日本札幌病院	血液・腫瘍内科	部長
幹事	長谷山 美仁	斗南病院	血液内科	科長
幹事	堤 豊	市立函館病院	血液内科	科長・医長
幹事	山本 聡	市立札幌病院	血液内科	医長
幹事	家子 正裕	北海道医療大学歯科内科クリニック	内科	副院長
幹事	田中 淳司	東京女子医科大学	血液内科	主任教授
幹事	橋野 聡	北海道大学	保健センター	教授
幹事・監事	近藤 健	北海道大学病院	血液内科	診療准教授
幹事	遠藤 知之	北海道大学病院	血液内科	講師
幹事	藤本 勝也	北海道大学病院	血液内科	助教
幹事	重松 明男	北榆病院	血液内科	内科医長
事務局・会計	杉田 純一	北海道大学病院	血液内科	助教

## 北日本血液研究会 参加施設

施設代表	豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科	教授
施設代表	藤本 望	開成病院	内科	副院長
施設代表	岩崎 博	札幌厚生病院	血液内科	主任部長
施設代表	黒澤 光俊	北海道がんセンター	血液内科	医長
施設代表	小林 一	帯広厚生病院	第四内科	主任部長
施設代表	小林 直樹	札幌北楡病院	血液内科	統括診療部長
施設代表	柿木 康孝	市立旭川病院	血液内科	診療部長
施設代表	盛 暁生	愛育病院	血液内科	副院長
施設代表	宮城島 拓人	釧路労災病院	内科	副院長
施設代表	西尾 充史	NTT 東日本札幌病院	血液・腫瘍内科	部長
施設代表	長谷山 美仁	斗南病院	血液内科	科長
施設代表	堤 豊	市立函館病院	血液内科	科長・医長
施設代表	山本 聡	市立札幌病院	血液内科	医長
施設代表	永嶋 貴博	北見赤十字病院	第一内科・総合診療科	部長
施設代表	川村 詔導	函館中央病院	内科	臨床顧問
施設代表	家子 正裕	北海道医療大学歯科内科クリニック	内科	副院長
施設代表	佐賀 智之	勤医協中央病院	血液内科	医長